

---

## 祝 辞

---

### 和歌山感染危機管理支援ネットワーク総会開催にあたっての祝辞

本日は、「和歌山感染危機管理支援ネットワーク第1回総会」の開催まことにおめでとうございます。

平素は、県行政とりわけ感染症予防行政に多大なるご協力をいただいておりますことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、近年、抗菌薬の不適切な使用を背景として、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)やバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)といった薬剤耐性グラム陽性球菌、そして、多剤耐性緑膿菌(MDRP)、多剤耐性アシネトバクター(MDRA)といった薬剤耐性グラム陰性桿菌による医療関連感染症が広がり、医療現場において大きな問題となっています。

さらに、最近では、医療機関外での市中における薬剤耐性感染症も増加し、社会的にも課題となっているところです。

このような状況下、国では、薬剤耐性(AMR)対策アクションプランに基づき関係省庁と連携し、効果的な対策を推進するため、院内感染対策サーベイランス(JANIS)による薬剤耐性菌感染症の発生率を把握する等の事業を行うとともに、今後、「適切な薬剤」を「必要な場合に限り」、「適切な量と期間」使用することを徹底するための国民運動を展開しております。

この度、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、保健師、保健所長の方々が有志で集まり「和歌山県感染症危機管理支援ネットワーク(略称 Wa I C C S)」を立ち上げ、感染症診療・予防に関する情報交換等を行い、感染症に関する医療の向上に積極的に取り組んでいただいていると聞いてございます。

このことは、地域の関係機関が連携を強化し、地域における感染予防・管理等を一体的に取り組む上で、大変重要なことと考えますので、今後の皆様の活動に大いに期待いたします。

終わりに、和歌山県の感染症対策事業の一層の推進に今後ともご協力をお願いいたしますとともに、貴会のますますのご発展とご参会の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

平成30年7月21日

和歌山県福祉保健部技監 野尻 孝子